

2019

6

June
No. 315

広報みしま



青空の下
凛々しく行進

三島小学校・三島保育所
合同大運動会 (7 ページに関連記事)

町長就任のご挨拶 矢澤 源成



「町民に寄り添った町づくり」
を目指して

この度の三島町長選挙におきまして、多くの町民の皆様のご支援をいただき、再選させていただきました。

「町民に寄り添った町づくり」を目指して、2期目となる町政を担うことになり、改めてその責任の重さを実感し、身の引き締まる思いであるとともに、決意を新たにしているところでございます。

これまでの町の取り組みにつきましては、町民の皆様のご指導とご支援を賜り、各分野において少しずつではありますが、成果が出てきているものと考えております。今後さらにスピード感を持って取り組んでまいります。

これからの町政執行にあたり、町の将来像として策定した第四次三島町振興計画の「住みたい、住み続けた故郷（桐源郷）を創る」をまちづくりのテーマとして取り組み、さらに「健康づくり事業の推進」「地域循環型社会の構築」「広域連携による奥会津の観光振興」「少子・高齢化への対応」の4つを重点項目として位置付け、町民の皆様がいきいきと生活し、安心して暮らせる町の実現に向けて、これからの4年間、職員と一丸となって全力で取り組んでまいります。

町民の皆様には、今後ともご指導、ご協力を心からお願ひ申し上げまして、就任の挨拶とさせていただきます。



全職員に迎えられ初登庁した矢澤町長(5月17日)

矢澤町長が取り組む2期目のまちづくり

①健康づくりの推進

町民の皆様の「健康」を重点課題とし、「食と栄養運動、社会参加」の3つの項目に重点を置き、健康づくり事業を推進します。

昨年度より進めております「三島町元気で長生き推進事業 目指せ！健康寿命＋10（プラステン）」では、町民の皆様の健康づくりを応援し、健康寿命を10歳伸ばしていくという取り組みです。

「健康ポイント」や「健康フォーラム」「トレーニング教室」などの事業も実施し、多くの町民の皆様の参加を頂いております。

今後は、さらなる内容の充実を図り、町民の皆様の健康への意識づくりに、より一層取り組んでいきます。

②地域循環型経済社会の構築

町の農林業の振興については、農林業における「地域資源」を活用した経済活動を起こし、そこから発生した利益や所得を町内で循環させる「循環型経済の社会」の構築を目地していきます。昨年より、豊富な森林資源を有効に活用するため他町村に先駆け「木の駅事業」をスタートさせました。まずは公共施設での熱エネルギー利用として実施し、更に商品券での木材買取により、町内での経済循環を図っていきます。

今後は、この事業の改善点や提案を町民の皆様から受け、より良い制度に見直しながら、農林業での雇用の場の創出に取り組んで参ります。

③広域連携による奥会津の観光振興

観光の振興については、奥会津5町村（柳津町、三島町、金山町、昭和村、只見町）の広域連携による奥会津への誘客活動を実施して参ります。奥会津の魅力発信は「雪国の生活文化を魅せ、いかに生活の馴れ合いを感じていただくのか」ということが重要であると考えています。

今後は、広域連携の中でDMO（観光業で地域づくりを行う法人）の設立による観光PRの強化やインバウンド事業強化に取り組み、海外からの誘客はもとより、国内の旅行者の方にも奥会津へ足を運んでもらえるよう奥会津5町村それぞれの特色を活かした事業展開を図っていきます。

④少子・高齢化への対応

少子化に向けては、これまで小中学校完全給食の実施、小・中・高校生町営バス無料化、医療費の無料化、乳幼児世帯への紙おむつ支給など、子育て支援の充実に取り組んでおり、さらに今年度は保育料の完全無料化も実施しております。

これからは、若者定住と地域医療の充実に向け「医療のないところに定住なし」の考えのもと、医療環境の整備を目指し、柳津町、金山町、昭和村の医療圏町村とスクラムを組んで県に要望していきます。

県立宮下病院は建て替えを含めた検討が始まります。さらに町民の皆様の声を集約し、医療と福祉そして介護の包括的ケアシステムの推進を図り、若者が定住しやすく、また、住民の方々が安心してきる医療体制の充実を図ります。

三島町元気で長生き推進事業



知っていますか？「自分の体」
「健康フォーラム」に60人が参加



説明を熱心に聞く参加者の皆さん



(株)タニタヘルスリンク 久野祐揮さん



JOYFIT インストラクター 宮田篤さん

令和元年度第1回「健康フォーラム」は5月25日、町民センターで開催され、町民の皆さん約60人が参加しました。

始めに、今年度の町の健康づくり事業の説明が町担当者よりありました。

「食（栄養）・運動）・社会参加」の3つの柱を基本として、昨年11月にオープンした桐の里倶楽部トレーニングルームの活用事例、活動量計を活用した消費カロリーなど昨年度実施した事業に加え、胃内視鏡健診などの新規事業の説明がありました。

次に会津若松市のスポーツクラブ「JOYFIT」インストラクターの宮田篤さんによる、ウォーキング方法の講習を行いました。実際に動きを交えながら、正しいウォーキングの姿勢や注意点を指導していただきました。

フォーラムの後半では、(株)タニタヘルスリンクの久野祐揮さんから活動量計と

体組成計の上手な活用方法の説明がありました。また、使い方に慣れていない参加者の方もおられ、熱心に話を聞いていました。

フォーラムの最後は、減塩メニューの試食会を実施しました。「鮭の焼き漬け」や「新じゃがバター」など、6品目の塩分量の合計が2.2gに抑えられたメニューでした。参加者の皆さんからは「塩分を抑えてもこんなに美味しくなるんだ」「自分でも作ってみたい」といった感想が聞かれました。

今年度も今回を含め3回の健康フォーラムを開催予定です。健康で元氣な生活をいつまでもおくれるよう、町では皆さんの健康づくりを応援します。



1日に必要な食品量の1/3に抑えた減塩メニューのお弁当

3年目を迎えた生活工芸担い手の育成

ものづくりを通じた交流人口の拡大から定住へ繋げる

三島町生活工芸アカデミー開講式



生活工芸アカデミー受講生の皆さん

写真左から：角田信三さん（静岡県出身）、安藤香奈子さん（茨城県出身）、小林由佳さん（会津美里町出身）、崎山志帆さん（東京都出身）

三島町生活工芸アカデミー開講式が4月26日に開催され、今年度で3年目を迎えたアカデミーには男性1名、女性3名が入講しました。

開講式では矢澤町長が「三島町のような山村での生活では様々な面において苦労することがあると思いますが、都市部にはない地域の絆、助けあいの心を体験できると思います。生活工芸の素晴らしさはもちろんのこと、ものづくり以外でも三島町の魅力を感じて下さい」とあいさつを述べました。

受講生の皆さんは、浅岐地区に住みながら、生活工芸館などで編み組細工を学び、地区行事などへの参加を通して町民の皆さんとの交流を図っていきます。

平成29年度に開講した三島町生活工芸アカデミーでは、これまで9人が受講し、5人が町に定住しています。

台湾交流推進事業

—こころのふるさとを受け継ぎ、絆を次世代へ—

テレサ・テン命日イベントに参加

町が進める台湾交流推進事業の一環として、5月8日がテレサ・テンさんの命日にあたり、町長、町議会議長がテレサ・テン命日イベントに参加し、墓前に献花を行いました。テレサさんの兄であるフランク・テン氏（財団法人テレサ・テン文教基金会理事長）への表敬を併せて行い、テレサさんとの繋がりを大切にする町の思いを伝えました。



テレサ・テンさんの墓前の様子

町では昨年度、テレサ・テンゆかりの地めぐり事業として、パンフレットやホームページの作成、案内看板の設置を行いました。

国内のファンの方々ははじめ、台湾からの来訪者など多くの方に、これからは三島町とテレサ・テンさんとの繋がりを広めていきます。



青空の下、力いっぱい走りぬけた

三島小学校・三島保育所 合同大運動会

- ① 全校児童・保育所児による入場行進
- ② ゆっくり！いそいで！「段ボール運び！」
- ③ 運動会のトリは「三島小全校リレー」
- ④ 保育所児による「かけっこ」
- ⑤ 大接戦となった「三島っ子タイフーン」
- ⑥ 最後まで一生懸命応援しました



三島小学校・三島保育所合同大運動会が5月18日に開催され、児童と保育所児たちの元気な声が校庭に響きわたりました。

児童たちは、今年のスローガンである「三島っ子 全力・努力・協力 3つの力でがんばろう」のもと、さまざまな種目に力いっぱい取り組みました。

保育所の子ども達も小学校のお兄さん、お姉さん達に負けないうらい元気にかけっこやダンスに取り組みました。

子どもたちの一生懸命な姿に、集まった保護者の方々から、大きな声援が送られました。

当日は、空が青く晴れ渡り、絶好の運動会日和でした。太陽が肌を焦がし、子ども達は日に焼けた元気な笑顔を見せました。



スタート時の様子



只見川沿いの新緑を眺めながら



たくさんの人で賑やかになった宮下地区

過去最多の250人が参加 新緑の三島町を満喫 桐の里ウォーク2019

今年度で4回目となる「桐の里ウォーク2019」が5月11日に開催されました。町内外から約250人が参加し、開会式では矢澤町長から「このイベントは町の健康づくり事業の一環として、平成28年度より始まりました。只見川をはじめとする町の雄大な自然を満喫しながら、心も体も気持ちよく歩くことができます。怪我なく楽しい一日にしてください。」とあいさつを述べました。

交流センター山びこをスタートし、名人、宮下、川井地区を経由する約8キロの

コースで、五月晴れのさわやかな日差しのもと、参加者の皆さんは思い思いのペースで歩いていました。

コースの途中には、町観光協会やSAMPSON、川井地区婦人会の皆さんによるおもてなしが行われました。

ゴール後は、お楽しみ抽選会や会津地鶏汁、会津地鶏の唐揚げなどがふるまわれ、参加者の皆さんの疲れを癒し、笑顔のひとときとなりました。

来年も多くの皆さんの参加をお待ちしています。



参加者にふるまわれた地鶏汁



あたたかいおもてなしに笑顔の一日となりました

空き家コラム

空き家の所有者・元所有者の方々の声をご紹介します！

- 今までは家の維持管理のための除草や除雪作業などで、ずっと三島町に通ってきました。家がある限りは、地区の人足や集まりにも参加しなくてはならなかったのですが、怪我をしてからは年々通うのが難しくなってきたので町に相談したところ、タイミングよく住居を探している人が見つかり、今は本当に良かったと思っています。
- 入居した方に家をきれいに使ってもらえ、また地区内の集まりや作業などに積極的に参加してくれており、地区の人も喜んでいるようです。
- 自分たちが三島町に住んでいないのに、子や孫に住めとは言えません。彼らには彼らの生活があり、「家や土地をもらっても困る」とも言われていたこともあり、彼らの負担にはしたくなかったので、自分たちの代できちんと整理しようと思っていました。
- 先祖代々の土地といいますが、きちんと管理されず惨めな姿になっていくのを見るのはこちらもつらいですし、朽ち果てていく姿は景観的にもよくありません。地区の人にも迷惑をかけるので、壊すしかないと思って役場に相談したところ、まだまだ使える物件と言われ、しばらくそのままにしていた折に移住希望者を紹介してもらいました。
- 賃貸だと修理などの際に、場合によっては貸主が負担しなくてはならないので、譲渡することができたのはよかったと思います。

移住者インタビュー vol.1

三島町には様々な想いを持って移住された方がたくさんいます。インタビューを通して、空き家の利活用や移住定住のきっかけ、町の新たな魅力発見につながればと思い、今号より移住者インタビューを連載します。

おおはし おさむ
大橋 治さん (64 歳) 浅岐地区在住

東京での IT 関係のお仕事を早期退職し、茨城県で義父の稼業を継いでいましたが、長年の夢であった田舎暮らし叶えるべく、2017 年 12 月に浅岐地区へと単身移住されました。空き家を無償譲渡で取得し、県や町の補助金を活用して住みやすい家に改修。現在は趣味を楽しむほか、地区や町の行事にも積極的に参加され、三島町での暮らしを満喫されています。

『三島町は夢が叶った場所』

— どのような経緯で三島町へ？ —
三島町には父が転勤族だったことから、中学生の頃に一年間住んだことがあります。工人まつりにもよく訪れていたし、工人の同級生が東京へクラフトフェアなどのイベントで来た時などに、作る姿を見たり話をしたりして、自分もいつかものづくりをしたいと思っていました。また山歩きや釣り、ツーリングが趣味だったので、そのすべてが実現できる会津地域への移住を希望していました。
当初は三島町ではなく、もう少し利便性の良い会津若松市や喜多方市に住んで、三島町に編み組細工を習いに来ようと考えていましたが、条件のいい物件が見つかりませんでした。そこで三島町にも相談をしたところ、ちょうど物件があるということで、今の物件を紹介してもらいました。その物件はもう壊すしかないと所有者の方が考えていたようですが、まだまだ住める物件で、友人の建築士に色々と相談しながら、改修する場所などを決めました。

— 今の暮らしについて —
週3日、町の交流センター山びこで町史編纂の仕事をしていきます。その他の時間は自分の趣味に
あてています。妻は実家の茨城県におり、子どもと孫も茨城県と埼玉県にいます。孫の行事に合わせて家族には会っています。
夏・秋は釣りや山登り、ツーリングを楽しみます。畑も借りているので、多少家庭菜園もやっています。材料採取が始まる11月から工人まつりのある6月までの冬場は、編み組細工をしています。去年の冬、町のものづくり教室で作り方を習い、今は自分で作っています。やるからには極めたいので、工人まつりに自分の作ったものを出すことを目標にやっています。

— 苦労したことは？ —
家探しでは条件に合う物件が見つからず苦労しましたが、移住してからには特にはないです。「除雪が大変じゃないか？ 買いたくない物があるんじゃないか？」とよく言われますが、それらはやらなくてはならない当たり前のことであり、大変なこととは特に思っていないです。
よく「覚悟して移住する」という言い方をしますが、移住に覚悟という言葉は似合わないと思っています。自分が好きで移住すること、だから、移住はワクワクすること、楽しいことであり、覚悟して来るほどのことではないと、個人的には思っています。

— 三島町の魅力は？ —
やっぱり編み組細工です。山歩きや釣りができる田舎、自然が豊かなところは全国各地にいくらでもあります。また各地に編み組細工もありますが、三島町の編み組細工には歴史に根差した感性や文化があり、町もそれを強力にサポートしています。地元の人々や町が編み組細工を残しているところ、という雰囲気やムードがとてもいいと思っています。また、工人まつりなどを通して三島町の編み組細工は全国的にも地位があります。材料採取からすべての工程を自分でできるのがこの編み組細工の魅力であり、自分の他の趣味とも併用でき、長く続けられそうだと思います。

三島町での暮らしは自分がしたいことすべてがそろっており、今充実した生活を送っています。昔はテレビを見て『ああ、バイク乗りたいな』と思っててもそれでおしまいでしたが、今はそれができるといふ充実感、満足感があり、それが移住して一番良かったことです。

協力隊コーナー vol.2



観光振興を担当している梅津 汐夏（うめづ きよか）です。他の協力隊メンバーとは少しずれて2018年5月に入隊し、1年経ちました。5月なので私だけ2年目の辞令交付年が「令和」なんです。ちょっと嬉しい。



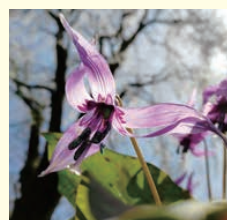
さて、そんな私が普段何をしているのかというと、基本的には観光交流館からんころんに居ます。からんころんでは販売・案内・電話応対などをしていますが、三島町の地域についてだけでなく山や自然に関しても疎いので、常に他の人に確認してから案内しています。ちなみにその疎さは、春に何も無いところからどんどん植物がはえてくる。ということだけでびっくりするくらいです。実家周辺では手入れされているところ以外からこんなにニョキニョキはえてきませんでしたから。なんかもう、通勤5分の間に毎日衝撃を受けています（笑）

観光案内で大してお役に立てない分、その驚きを SNS で外に発信して三島町のことを多くの人に知ってもらおうという活動もしています。フェイスブックとインスタグラムの2つを前任者から引き継いで、主に三島町のイベントや写真スポットの情報について発信しています。ただ、去年は主要箇所ばかりを発信していたので、今年は他の地区も発信するために町内をウロウロする予定です。おすすめ場所があったら教えてください！撮りに行きます！！

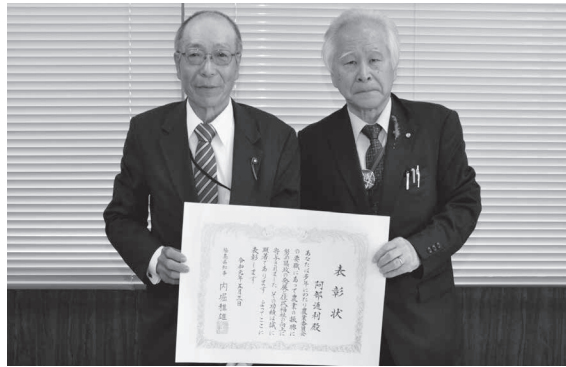
あとは、そんな SNS やインターネットで三島町を知った海外の方がたくさん来るようになったので、海外の観光客向けに多言語のチラシを作ったり、分かりやすい表示になるよう細かい色んな部分を変えたりと、観光客も、町民も、お互いが困らないように整備していきたいと考えています。

観光協会の「からんころん便り」にも担当の時はつぶやいているので読んでみてください。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

フェイスブック <https://ja-jp.facebook.com/mishimatiikiokoshi/>
Instagram https://www.instagram.com/mishima_aizu/



梅津さん作



矢澤町長に受賞の報告をする阿部通利会長



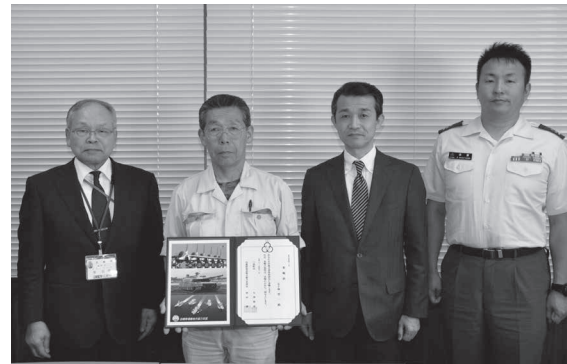
農業振興功労者知事表彰を受賞 阿部通利三島町農業委員会長

5月16日、福島市において福島県功労者知事表彰式が行われ、阿部通利さん（桧原）が農業振興功労者表彰を受賞しました。阿部さんは平成11年から三島町農業委員として在職し、平成20年からは農業委員会長を務め、地域農業の発展・活性化に尽力されました。この度、19年間に渡る農業委員としての功績が認められての受賞となりました。



自衛官募集相談員委嘱状交付式 五十嵐豊一さん（西方）に委嘱

自衛官募集相談員に五十嵐豊一さん（西方）が委嘱されました。委嘱状の交付は5月22日、役場で行われ、自衛隊福島地方協力本部の福岡理副本部長の立会いのもと、秦副町長から五十嵐さんに委嘱状が手渡されました。自衛官募集相談員は自衛隊志願者に対する情報提供や募集のための支援等を行います。任期は2年で、五十嵐さんは、平成19年度から務めており、6期目となります。



委嘱状を手にする五十嵐豊一さん



中兵一郎会長らを再任 三島町文化協会総会

三島町文化協会総会は5月23日、町民センターで行われ、会員約10人が出席しました。平成30年度事業報告と会計決算、令和元年度事業計画と会計予算が承認されました。また、役員改選が行われ、会長に中兵一郎さん（大石田）、副会長に諏訪義幸さん（宮下）と五十嵐純子さん（大登）が再任されました。



町民センターで行われた総会の様子



防ごうメタボリックシンドローム 特定健診・特定保健指導実施率が全国7位

平成29年度における三島町の特定保健指導実施率・特定健康診査実施率（受診率）が全国924自治体（町・村）のうち7位となり、この度、厚生労働大臣から表彰状が贈られました。特定健康診査とは、メタボリックシンドロームから起こる心疾患等を減少させることを目的に実施され、特定保健指導は健診の結果から、生活習慣改善の為に支援を保健師等が行います。町民の皆さんの行動や努力が表彰につながりました。ありがとうございました。



表彰状を手にする町保健推進員の佐藤美智子会長と馬場光子副会長



町民センター行われた総会の様子



三島町消防団春季検閲式 二瓶義徳前団長らに感謝状を贈呈

三島町消防団春季検閲式は4月28日、雨天のため生涯学習センター体育館で行われました。小島純団長は「団員諸君が元気はつらつとした優秀な成績をもって検閲式を終了できることを望みます」と訓示を述べました。その後、二瓶義徳前団長をはじめ、退団された9人に感謝状が贈られました。今年度の新入団員は6人で、団員数は168人となりました。



矢澤町長より感謝状を受ける二瓶義徳前団長



桐の花を眺めながら歩く参加者の皆さん



里山の美しい新緑の中で 桐のお花見さんぽを開催

5月12日、大林ふるさとの山において桐のお花見さんぽが行われました。町内外から9名が参加し、町桐専門員の藤田旭美さんの案内のもと、咲き始めた桐の花の観察や付近に自生する植物の説明を受け、参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。大林ふるさとの山には、西方共有財産管理会が管理する桐が約100本植栽されており、毎年5月中旬になると綺麗な薄紫色の花を咲かせます。



教育行政への尽力を表彰 阿部和彦三島町教育長職務代理者

5月13日、福島市において開催された福島県市町村教育委員会連絡協議会総会において、阿部和彦さん（桧原）が福島県市町村教育委員会連絡協議会より表彰されました。

これは、多年にわたる教育委員・教育長職務代理者として、真摯な町の教育行政への適切な助言等の功績が認められたものです。教育委員の任期は4年で、阿部さんは平成22年から務めており、現在3期目となります。



表彰状を手にする阿部和彦さん

春の人足で地区の林道を守る

文・写真 本名与四郎さん（西方）



西方地区の春の人足は、5月4日の午前8時より正午近くまで行われました。当日は早朝から天候に恵まれ、気持ちの良い暖かさとなりました。14組の隣組はそれぞれ決められている人足箇所の仕事に汗を流しました。

隣組によっては、出役人数が3人で作業を行わなければならない隣組もありましたが、隣組同士で協力し合いながら作業に取り組む姿もみられました。今後、ますます高齢化が進み人足を行うこと自体が危惧されます。

各隣組とも、途中休憩を挟みながら、西方地区の小高い山々から貴重な数多くの土器が見つかることや夏休みとなると今では使われていない冷たい水の堤で子どもたちが泳いだことなど思い出深い話を聞くことができました。村中人足を通して、地区の方々の絆や交流の大切さを感じた半日となりました。

「子どもの守り本尊」岩倉山頂めざす

文・写真 本名与四郎さん（西方）

鬼子母神例大祭は、5月5日に西方地区の西隆寺と岩倉山本堂で行われました。鬼子母神堂は標高500メートルの岩倉山頂上にあり、明治初めに地元の庄屋が建立したと言われています。安産や子供の健やかな成長を願い、町内外から200人以上の参拝客が訪れました。

また、大神楽の団が鬼子母神例大祭にあわせて来訪しました。恒例の場所となっている西隆寺境内とふるさとセンター前では、太鼓や笛の音に合わせた軽快な神楽を見たり聞きたいために大勢の地区住民など参集し、心地よいリズムと踊りを楽しんでいました。



みんなで楽しくウォーキング

文・写真 小島 純さん（宮下）



宮下分館（酒井佐一分館長）と荒屋敷分館（青木正幸分館長）では、5月12日、晴天の中、健康ウォーキングが開催されました。準備体操の後、宮下・荒屋敷地区内をウォーキングし、只見線の撮影スポットであるアーチ三橋台や普段歩かない裏道（サイクリングロード）などを歩き、心地良い汗を流しました。

その後、宮下駅前や町内各所で花植えを行い宮下活性化センターにおいて、参加者全員でバーベキューをセッティングし、さわやかな青空の下、大人も子供も楽しく親睦を深めました。

通常総会開催される

文・写真 小島 純さん（宮下）

三島町商工会（佐久間源一郎会長）の令和元年度第58回通常総会は5月20日、三島町商工会で開催された。佐久間会長のあいさつの後、永年勤続優良従業員表彰が行われ、佐久間建設工業株式会社2名、滝谷建設工業株式会社2名、早戸温泉つるの湯企業組合から2名の計6名の勤続35年と10年の方々が表彰されました。

来賓祝辞のあと、総会に入り、議長に小林秀二さんが選任され議事に入りました。総会に提出された、議案第1号から第6号議案が慎重に審議され、全て承認されました。なお、会員の出席数は本人出席26人、代理出席16人の計42名でした。



町民記者通信

「棚田お助けオーナー」田植え行われる

文・写真 菅家壽一さん（間方）



5月19日、間方地区の宮ノ前において、オーナーとそのご家族やお友達、そして、お田助隊による田植えが行われました。近年、高齢化等により耕作されない田んぼが増え、美しかった里山の景観も損なわれてきました。

そのため、地区外の方々の力をお借りして、楽しみながら美しい景観を守り、自分でつくったお米で美味しいご飯を食べていただこうと実施しているものです。

当日は首都圏や仙台市などから30人の方が駆けつけ、田んぼ約4.5反にひとめぼれやマコモダケを植え、とても賑やかな田植えになるとともに、美しい景観を維持することができました。昼食後は、ワラで縄繻いを体験していただきました。できなかった方も1時間ほどで上手に繻うことができるようになりました。最終的には、足半（あしなか）を仕上げる予定です。

稲刈りと稲扱きも、多くの方にお田助けいただき実施する予定です。

好評を博した川井休憩所

文・写真 角田伊一さん（川井）

好天の5月11日に実施された第4回「桐の里ウォーク」は、県内外から大勢の参加者で賑わいました。コースの最終地点に設置された川井婦人会のおもてなし休憩所は、疲れて汗を流した参加者が大勢立寄り、冷たい麦茶やそうめんに手を伸ばされ、つき立てのよもぎあんこ餅を買い求めるなど大好評を博しました。一休みした参加者は、眼前に広がる休耕田の満開の菜の花を眺め、カメラにおさめるなど心行くまで楽しんでいらっしやいました。



春一番の人足作業

文・写真 佐々木邦雄さん（桧原）



4月29日、午前6時より桧原地区の春の人足は32人の参加により行われました。春日神社境内の冬囲い取り外しと清掃作業及び地区内の町道の側溝清掃（土砂上げ等）をメインに進められました。特に神社前の町道沿いは杉の大木が多くあり、枯れ葉が側溝に入り一番苦勞される共同作業で、気持ちの良い汗を流しました。今年も消防団桧原班により仕上げの路面清掃、放水作業も行われ地区全体が綺麗になりました。本格的な春の訪れに感謝しながら解散となりました。

環境美化へ清掃作業

文・写真 佐々木邦雄さん（桧原）

5月5日、ボランティア桧原の会は、恒例の地区周辺の国道、県道、町道を22人が参加し、約4kmの道路を3班に分かれて道路清掃活動を実施しました。集会所前で出発式を実施し、片山一雄会長より「交通事故防止に努めて下さい」と挨拶があり毎年ゴミの量が減少していてドライバーの皆さんのマナーが年々向上していることが感じられました。作業は2時間で終了し、午後4時より実施した総会は集会所が改修工事中の為、春日神社本殿内で実施し、事業計画等が承認され、終了後の懇親会では親睦を深めました。



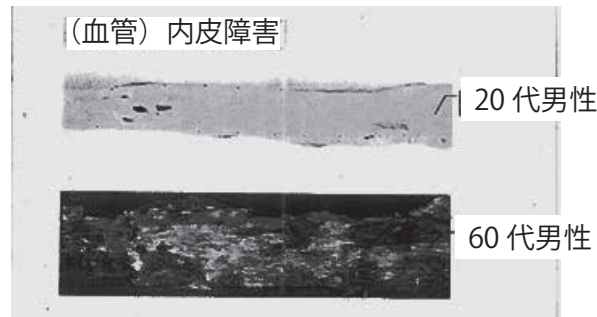


6月23日⑩～6月26日⑩は 町の総合検診です

健診で知っていただきたい、ご自身の体のことがあります。

「悪いところが見つかったら嫌だな…」「もう年だから健診を受ける必要がないよ」「元気だから大丈夫」と考えている方はいませんか？ そんな方にこそ、健診の受診をオススメします！

健診でわかる `血管の状態・血液の質、！



左図の上がきれいな血管、下が傷ついた血管です。血液の質が悪いと、血管に傷が付き、体全体に必要な栄養を運べなくなってしまう。血管は傷ついても痛みを感じませんが、健診の数値から、今の状態を知ることができます。

血管は若返る！？

「退縮」という言葉を知っていますか？自分の状態に合わせて血液の質を改善することで、年齢に関わらず2～3年で今とだいぶ違った状態の血管に変えられるんです。健診の受診は傷んだ血管をもとに戻すための一番のきっかけになるはずです。

健診で引っかかったらラッキー？

血管の傷み（動脈硬化）が進むことで起こる認知症や脳血管疾患、心疾患、腎臓病などの、大きな病気にならないことが大切な目的です。健診結果で引っかかるということは、「倒れる前に防げる！よかった！」ということ。がっかりする必要はありません。

○特 定 健 診 身体計測、血圧測定、尿検査、心電図、眼底検査、血液検査、医師による診察

○若 年 健 診 19～39歳の方 ○後期高齢者健診 75歳以上の方

○各種がん検診 胃がん健診は今年度から男女混合での健診となります。案内をよく読み、服装などに注意して受診してください。

目に見えない部分を見る唯一の方法！ぜひこの機会に！

図書のご案内

●今月のおすすめ

『ニムロッド』作：上田岳弘

サーバー管理会社に勤める中本はビットコインの発掘業務を命じられる。めまぐるしい技術の進歩に対し、人間が取り残されていくような感覚。そんななか、元同僚からある小説が送られてくる…。芥川賞受賞作品です。



○利用時間

⑩～⑫ 午前9時～午後9時
※年末年始は閉館いたします。

⑩⑪⑫ 午前9時～午後5時
⑩公民館 ☎(48) 5599

輪切り図鑑『大帆船』

文：リチャード・プラット
絵：スティーヴン・ピースティアー

海戦を戦ったイギリス軍艦を輪切りにして、内部を見られる絵本です。当時の海上生活がとても詳細に描かれていて迫力があります！



●新着本●

題 名	著 者
1R(ラウンド)1分34秒	町 屋 良 平
ひとつむぎの手	知 念 実 希 人
下町ロケット ヤタガラス	池 井 戸 潤
童の神	今 村 翔 吾



町民記者通信



みんなで田植え、楽しく汗を流す

文・写真 小島 純さん（宮下）



宮下地区、三島小学校、公民館が毎年実施しているびおたん交流事業「田んぼの学校」の田植えが5月23日、三島神社参道脇の水田で行われました。三島小学校3年生から6年生の児童24名が参加し、びおたんクラブの役員の方々の指導を受けながら水田に入り快晴の中、楽しく田植え作業に汗を流しました。

終了後は、児童たちが「去年は上手く植えられなかったが、今年は上手く植えることができた。」「ぬかるみに足を取られて転ぶ事がなくて良かった。また来年もやってみたい。」などと、それぞれ感想を述べました。



こぶしの会総会と国道沿いのゴミ拾い

文・写真 佐久間絹江さん（滝原）

4月28日午前10時より、ボランティアこぶしの会の総会及び国道沿いのゴミ収集を行いました。林業集会センターにて平成30年度事業報告、歳入歳出決算及び平成31年度事業計画、歳入歳出予算等今年度も早戸地区の皆さんと一緒に遊歩道整備や公共施設の美化活動などが承認されました。

総会終了後、地区内を通る国道沿いのゴミ拾いを行い、生活ゴミから、鉄クズ、オイル缶など様々なゴミが収集され行きかう車にゴミを捨てないようアピールしました。

午後からは、4月22日から再開された滝原グランドゴルフクラブの練習を行いました。練習の成果を競い合う、令和初の大会が5月末に開催される予定です。



平成から令和へ 古峯講行われる

文・写真 佐久間絹江さん（滝原）



5月2日午前11時より古峯講が行われました。

滝原地区の後方の美坂山の中腹にある古峯神社祠に参拝した後、滝原林業集会センターにて、改めてお神酒をいただきながら、楽しく親交を深めました。令和という新しい時代を迎えましたが、古来続く伝統行事を大切に受け継いでいながら、地区住民の結束を深めていきたいと思います。

広報みしま 皆さんからの情報提供をお待ちしています

「広報みしま」は、皆さんに親しまれる広報誌を目指して編集しています。町からのお知らせを分かりやすく伝えることはもちろん、町民の皆さんの顔、声を掲載することが最も大切と考えています。「広報みしま」は、町民の皆さんのための広報誌です。いつでも情報をお待ちしています。

役場 特命担当課 ☎(48) 5232

沼田街道の開修（前）

大登村出身で、当時県会議員であった渡部楨二、馬場庄平の両氏が当地方に県道がないままであれば、将来他地域と対峙することができないと、県知事に建議、明治十四年（一八八一）八月、気多宮（現会津坂下町）から松枝岐、そして上州沼田に至る道が「沼田街道」と称して仮定県道三等に編入されました。

次に両氏が望んだことは大沼郡内における「沼田街道」の開修でした。明治十八年（一八八五）、「会津三万道路」の開修工事が落成したことにより、両氏は時機到来と翌十九年に開修工事を本格化させるべく積極的に動き出します。渡部氏は宮下村戸長役場に各村の総代達を集め、当地方が山間部に位置し、道幅も狭く、道中には崖崩れや落石の危険もあり、田畑さえなかなか拓きたいこと、このままでは衰退していくばかりであり、今この時に開修せねば後年百倍の惨状となるのは明らかだと、「沼田街道」開修の必要を訴えます。

しかし、彼等に賛同の意を示し発起人として名を連ねた者は多くなかったといえます。人によってはこの山中に車馬を通すよ

うな道に開修することなど人に非ざる「鬼斧神工」の業であると、嘲笑う者もいたといえます。

そんな頑迷な人々にも屈せず、発起人達は知事に陳情、土木課にその利害を説き、明治二十年七月初旬、開修の第一歩として、県庁より測量官が派遣されることになりました。翌八月には川口村（現金山町）において発起人会を開催、渡部・馬場両氏を総代人とし、開修にむけた県との協議等に関する目論見や規約を定めました。現三島町からは桑原村の河越諒平、宮下村の齋藤楨次・細川熊太郎が、後に川井村の角田友次、桑原村の河越朋平各氏が名を連ねています。九月に入ると大沼郡長には開修に関する「目論見予算書」を、県知事には「開修ノ義ニ付請求願書」を手渡し、丁寧な説明を行います。

十月には渡部氏を議長とし、宮下村外五十一ヶ村連合村会を開催、開修に係る村々の負担割合等を定めた議案は一部修正の後、決議されました。決議案は、郡長に提出され、十二月に認可が下りています。

一方、県会では越後安積街道、茨城街道

ご家庭に古い文書などがございましたら、交流センター
山びこまでご連絡ください。

☎（52）2165

などとともに土木起工諮問案にかけられ、「沼田街道 金三万九千九百三十四円六十八銭 内六分地方税三ヶ年支弁」とその時点においては可決されましたが、本会三次会で五十一名中二十六名が否決側にまわり、不成立となりました。県議として会に臨んだ馬場氏の発起者達への悲痛な報告が遺されています。既に県議を辞め、報告を受ける側であった渡部氏は凜然とし、県知事や本省にあらためてかけあい、もし容認されなければその面前にて腹をかつさばくつもりと悲壮な思いを吐露したといえます。渡部氏の覚悟に触れた県議の馬場氏、そして発起人の一人である宮下村の細川氏がその運動に取りかかろうとするも賛同者は少なく、集った人々は話し合いの末、県の補助に頼らず「沼田街道」開修に着手することについて、連合村会の臨時会にかけるべく動き出します。（つづく）

（参考文献）『沼田街道開修顛末』

文 三島町町史編さん室

環境研だより 第11回
「三島町研究集会と研究協力者インタビュー」

三島町のみなさま、こんにちは。

私たち環境研が平成29年に三島町と連携・協力に関する基本協定を結んだことは皆さんご存知だと思いますが、実は三島町の研究は私たちだけではなく、たくさんの研究機関と協力しながら進めている、ということは初耳な方が多いかもしれません。

このたび、三島町で共同研究を行っている研究者が集まり、最近の研究成果を発表する「第1回奥会津研究集会」が三島町町民センター視聴覚室にて5月17日に行われました。研究集会には環境研の他、東北大学の風間教授、東京農業大学の岡澤教授、大阪大学の松井助教など多くの研究者が出席し、研究の成果を役場の職員や町内で林業に係っている方々に発表した後、研究内容について意見を交換しました。

今回は研究集会にも出席された東京農業大学の岡澤宏教授に、ご自身が普段取り組んでいる研究内容や三島町での研究についてお話を伺いました。



Q. 岡澤教授は普段どのような研究を行っているのでしょうか？

私は農業に関する水資源の管理について研究を進めています。農業には水が必要不可欠で、水がなければ農作物を育てられませんので、どうしたら効果的な水利用ができるのかについての研究や、また農業で使った水には窒素などが含まれていて河川などに流れ込むと汚してしまいますので、どうしたらもっと水環境にやさしい農業が可能になるか、などといった研究を行っています。

Q. 三島町で実際に行っている研究とはどのようなもののでしょうか？

三島町では、比較的小さい川を対象にして、雨が

降ったときにどのくらい川の流量が増えるのか、コンピューターを使って計算する研究を進めています。どの程度の雨が降れば川の流量がどの程度増えるのか予測ができれば、豪雨時に危険水位に達するまでの時間などを把握することができます。つまり、防災面で役に立つ研究になります。

もうひとつは、川の水を使った小水力発電に関する研究を進めています。川の流量が分かれば、どれだけの発電量を得られるかということも、コンピューターを通じて予測できますので、その精度の良い予測モデルを作れないかと町内で研究を進めています。

三島町での研究は森林を中心とした研究になると思いますが、森林・農業・住環境が三位一体となってお互いの良いところをもっと高められるような地域づくりを、水環境や水資源という視点から取り組んでいければと思っています。

Q. 三島町にどのような印象をお持ちですか？

非常に山あいにある町だなというのが印象です。ただ、私自身も長野県長野市出身で周りに山がたくさんある環境で育っています。今は東京に住んでいるのですが、三島町に来る度に、周りに山があるということで、とても安心感を覚える、リラックスできる環境だな、という印象を持っています。

岡澤先生ありがとうございました。三島町では会津みしま自然エネルギー研究会様も長年小水力発電に関する調査を進めておられますので、ぜひそちらとも連携して町に役立つ研究に繋がればと思います。次回も引き続き研究集会に出席された方へのインタビューをご紹介します。

<筆者紹介>

常盤 達彦（ときわたつひこ）

埼玉県出身で平成28年～30年まで三島町地域おこし協力隊として活動していました。環境研がどのような活動をしているのかわかりやすく伝えていきたいと思います。



● 国立環境研究所福島支部
地域環境創生研究室 ☎ 0247（61）6572

福島県警察官募集のお知らせ

1. 警察官B（男性・一般、女性・一般）

①受付期間 7月26日(金)から8月23日(金)まで

②受験資格 昭和61年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた方

※大学を卒業した者又は令和2年3月末日までに大学を卒業する見込みの者を除きます。

2. 警察事務（高校卒程度）

①受付期間 8月1日(土)から8月23日(金)

②受験資格 平成10年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた方

※この期間に生まれた場合であっても、大学を卒業した方又は2020年3月末日までに大学を卒業見込みの方は除きます。



会津坂下警察署警務係 ☎0242 (83) 3451

還付金詐欺被害防止

当署管内で昨年2月に約100万円被害
公的機関を名乗る電話に注意！

昨年2月、70歳代男性の自宅電話に役場職員を名乗る男から
「国保税の過払いがあり、今日中に返還手続きをとらないと戻らない。手続きをとれる銀行口座はあるか。」
などと電話があり、管内の金融機関名を告げたところ、今度は銀行員を名乗る男から
「窓口が混んでいるので、スーパーのATMに行って欲しい。着いたら電話して欲しい。」
などと電話があり、それを信じた男性はATMに行き銀行員を名乗る男の指示通りに操作した結果、約100万円をだまし取られたもの。



カクニンジャー福くん

ATMを操作して還付金を受け取る手続きは
絶対にありません。お金が戻る話には注意でござる！

農耕車の交通事故防止

3件すべて会津方部！うち1件は柳津町で発生！

昨年1年間で県内では、農耕者が関係する交通事故が3件発生し、その内2件は交通死亡事故となっています。当署管内では、昨年10月柳津町で死亡事故が発生しています。今年5月18日にも、会津坂下町で田植機の転落事故が発生しており、一歩間違えば死亡事故になっていたおそれがあります。

注意のポイント
○安全な速度で運転を！ ○適度な休憩を取りましょう！
○複数人で声を掛け合って作業を！ ○夜間や薄暗い時は走らない！

街頭犯罪発生件数（4月30日現在）

区 分	管 内	三島町
空 き 巣	1	
事 務 所 荒 し	3	
自 販 機 ね ら い	2	
車 上 ね ら い	1	1
強 制 わ い せ つ	1	
街 頭 犯 罪 合 計	8	1
そ の 他 刑 法 犯 等	15	1
全 刑 法 犯	23	2

特徴：昨年4月に車上狙いが多発しました。車を離れる際は、短時間でも必ず鍵をかけましょう。

【令和元年度 宮下病院「心ある医療」出前講座のご案内】

県立宮下病院では、地域の方々との交流を深め、皆さまに信頼される病院運営に向けた取り組みの一つとして、平成20年より「心ある医療出前講座」を開催しております。この「出前講座」は宮下病院の医療スタッフが直接、皆さまの元へお伺いして、病気の予防や健康増進などをわかりやすくお話しするものです。

今年度は新たに下記の4メニューを追加し、講座数は35となりました。また、これまでのメニューの一部を変更しました。もちろん、メニュー以外の内容についても対応可能ですので、皆さまの日ごろの疑問解消や興味のある分野でお役に立てれば幸いです。※メニュー全体をお知りになりたい方は、下記担当へお問い合わせください。

○今年度からの新しいメニュー

No.	講座名	内容説明	所要時間	対象者	担当
32	腰痛を防ぐ日常生活動作 ～腰痛知らずで、毎日元気～	①腰痛を起こしやすい姿勢と動作 ②予防するための工夫やコツ	30分	地域住民	理学療法士
33	歩行補助具について ～特徴と使い方～	①歩行補助具いろいろ ②その使い方について ③選ぶときのポイント	30分	地域住民	理学療法士
34	看護師の仕事って？ ～看護の日週間特別企画～	①ナインゲールの話 ②いろいろな場面で活躍する看護師 ③宮下病院の看護師は毎日どんな仕事してるの？ ④看護師という職業のメリット、デメリット ⑤看護師になるためには	30分～50分	中・高校生	看護師
38	健口長寿をめざしましょう ～お口の健康～	①お口の役割 ②お口のチェック ③お口のトラブルについて ④入れ歯のケア ⑤食ベトレ体操で口とノドをきたえよう	30分	地域住民	看護師

※No.34の「看護の日週間」とは、5月12日～5月18日の期間を指します。

○見直しをしたメニュー

No.	講座名	内容説明	変更内容
3	膝痛の原因 ～若がえりのための体操～	①膝痛は、なぜ起こるのか ②膝痛予防のための体操	これまで腰痛と膝痛の2つを対象としていましたが、内容を絞って、膝痛のみとしました。 腰痛の内容を御希望の場合は、No.32をお選びください。
5	いつまでも元気に ～ずっと自立した生活をつづけるために～	①いつまでも元気に生活する心のもちようについて ②あなたの心と身体の健康チェック ③脳の活性化と転倒しないための運動	昨年度までのサブタイトルを変更するとともに、内容を見直しました。
16	元気をつくる食習慣 ～元気に活動するためには～	①シニア世代の食事の傾向 ②毎日の食事で気を付けること ③間食について ④元気に活動するには	昨年度までのサブタイトルを変更するとともに、内容を見直しました。
31	災害に備える ～命を守るために準備しておくこと～	①いつでも、どこでも起きうる災害 ②命を守ろう・・・ (普段準備しておくこと・避難場所を確認しよう)	対象者をすべての町民の方としました。

○申込み及び問い合わせ先：県立宮下病院 事務部「出前講座担当」 TEL 52-2321 / FAX 52-3133

ご寄附ありがとうございました

佐久間建設工業株式会社が 町と日本赤十字社三島町分区へ寄附

佐久間建設工業株式会社から町と日本赤十字社（県支部）へ三島町分区をととして寄附金が贈呈されました。佐久間源一郎代表取締役らが5月15日役場を訪れ、矢澤源成町長に寄附金を手渡しました。



坂内綾子御夫妻が町へ寄附

坂内綾子御夫妻から町へ寄附金が贈呈されました。5月16日役場を訪れ、矢澤源成町長に寄附金を手渡しました。綾子さんは小山地区の出身で、以前にも町へご寄附をいただいています。



社会福祉協議会より

サロンのご案内

▼大登サロン
6月11日（火）11時～
大登生活改善センター

▼ひまわりサロン
6月14日（金）10時～
町民センター

▼大石田友遊サロン
6月17日（月）10時～
大石田生活改善センター

▼浅岐あつたかサロン
6月18日（火）10時～
浅岐集会所

▼間方いきいきクラブ
6月19日（水）10時～
間方集会所

▼桧原はつらつクラブ社会見学
6月21日（金）
会津美里町方面

▼サロンないり
7月1日（月）10時～
名入集会所

▼ひまわりサロン
7月5日（金）10時～
町民センター

問 社会福祉協議会 ☎（52）3344

【納期限】7月1日

▼町民課（第1期）

問 町民課 町民係 ☎（48）5555

忘れずに納付しましょう

町の人口と世帯

5月1日現在

人口	1,623	+8	出生	0
男	798	+7	死亡	6
女	825	+1	転入	16
世帯	770	+11	転出	2

③住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

※掲載を希望する方もされない方も、各種手続き時に『広報みしま掲載同意書』に記載事項を記入していただきます。ご協力をお願いいたします。
特命担当課 ☎（48）5232

お悔み申し上げます



山内クニ子（90才・宮下）

はじめまして赤ちゃん



目黒智悠（滝谷）常仁・麗

ご寄附ありがとうございました

町社会福祉協議会へのご寄附
ご遺志によるもの

佐藤賢一様（宮下）
小堀修一様（西方）
矢澤昇様（高清水）

東北電力からのおねがい

発電所やダムから水を流したときの水難事故を防ぐため、各所に注意札を立てております。水を流すときは、スピーカーやサイレンによってお知らせしますので河原にいる人は危険ですから、すぐ安全な場所に移動されますようお願いいたします。

次のときにスピーカーをならします

- ① ダムから初めて水を流す約10分前
- ② 発電所から初めて水を流す約10分前
- ③ 発電所の出力を増やし水を多く流すとき（放送内容）
「今から川の水が急に増えます。河原にいる人は危険ですから、すぐ上がってください。」

※毎日9時にスピーカーの音を実際に鳴らして、装置の点検を行っております。

次のときはサイレンをならします

- ① ダムの流量が毎秒1,000m³に達したとき
 - ② ダムの流量が毎秒2,000m³（洪水量）に達したとき
 - ③ ダムの流量が洪水量オーバー後毎秒1,000m³増加毎（警報内容）
- | | | |
|------|------|------|
| サイレン | サイレン | サイレン |
| ■■■■ | 休み | ■■■■ |
| 50秒 | | 50秒 |

<河川への不法投棄はやめましょう！>

<問い合わせ>

東北電力(株)会津若松電力センター制御所
(☎ 0242 (22) 2220)

只見川ダム管理所 (☎ 0241 (52) 3422)

阿賀野川水系ダムの状況を当社HPから閲覧出来ます。

東北電力HP — 災害に備えて
— 阿賀野川水系ダム情報

<https://www.tohoku-epco.co.jp/dam/index.html>



消防署からのお知らせ

消防署の一般電話より迅速に出動できます

119番通報は、会津若松市内にある消防指令センターで集約され受理されます。特殊な装置が設置され、場所の特定が早く、受信する指令員も日頃から訓練をし1秒でも早い緊急出動を心がけております。

様々な状況に応じた緊急車両を判断し迅速に出動するには、消防署の一般電話へ通報するより、やはり119番通報がいちばんです。

火災・救急・災害は『119』へ

令和元年度 「危険物安全週間」の実施について

6月2日⑥～6月8日⑦までの7日間



無事故への 構え一分の 隙も無く



危険物安全週間は、毎年6月の第2週に全国的に実施されており、今年は6月2日から6月8日までの間行われます。危険物の危険性を確認し、危険物による事故ゼロを目指す取り組みです。

危険物とは・・・？

消防法に定められている物品で、一般的に次のような危険性を持った物品です。

- 火災発生の危険性が大きい！
- 火災拡大の危険性が大きい！
- 消火の困難性が高い！

※特にガソリンは揮発性が高く、静電気でも引火してしまいます。給油などでガソリンを取り扱う際は、静電気を除去し、タバコなどの火のついたものを近づけないように十分注意して取り扱いましょう。

火事と救急は119番
三島町消防団
会津坂下消防署三島出張所
電話 52-3032 F A X 52-3033

～奥会津只見線～

星賢孝写真展

四季彩々



- ・期 間 令和元年6月1日(土)～6月30日(日) ※期間中ギャラリートークを開催予定です
日程はホームページにてお知らせします
- ・開館時間 午前9時から午後5時(最終入館 午後4時30分)
- ・入 場 料 大 人 300 円 65 歳以上 150 円
大学生以下 無 料 三島町民 無 料
- ・会 場

三島町交流センター山びこ

〒969-7402 福島県大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上 418

☎ 0241 (52) 2165 Fax0241 (52) 2166

町長日記 ～時代の変化と2020年東京五輪～

No. 47

6月1日、東京五輪・パラリンピック組織委員会は聖火ルートの概要を発表しました。福島県は会津、中通り、浜通りの25市町村で実施される旨の報道がなされました。

また、来年3月26日から28日までの3日間で割り当てられた聖火を繋ぐ、具体的な走行ルートや区間は国委員会が、県実行委員会と調整し、年末頃に公表する予定であると報道されたところであります。

福島県は、東日本大震災と原発事故からの復興の現状、伝統文化や歴史遺産、美しい景観など国内外に発信するルートを考慮した旨の報道がされてきました。

新潟・福島豪雨災害からの復興が進むJR只見線の絶景スポット、第一橋梁がコースに入った事は、奥会津五町村活性化協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町)はもちろんですが、只見川電源流域振興協議会(五町村に加えて、伊南川流域の南会津町と松枝岐村で構成)の町村にとっても、非常に喜ばしい事であり、今後7町村が連携を密にして、奥会津の復興はもちろんですが、

雪国や川の生活文化を誇大になることなく発信することが結果として奥会津地域の関係性の再構築、ひいては地域の振興になると考えています。

高度経済成長やバブルの時代に日本は熱狂し、経済は拡大、人口も急激に増加する時代が過ぎた今、人々が空虚を感じる時代に突入したように感じます。特に日本で起る地震や豪雨による災害の後、「絆」や「個」に代表される言葉のように、横の連携を求める自分自身の存在探しの時代に入ってきたのではないかと考えています。

三島町に来ていただいている「生活工夫アカデミーの受講生」や「地域おこし協力隊」の皆さんの言動から、自分と他人や自分と自然の関係を問い直す動きだと確信しています。

2020年東京五輪・パラリンピック開催も、そのような視点から問い直す事が大切であり、今回の福島県の聖火リレーのルート選定は、そのような理念が含まれ、未来の福島に期待しているところであります。

三島町長 矢澤 源成